

令和5年度 教育計画						学校番号 6	
松山市立清水小学校							
校長名	越智 文明	学級数	18 (5)	児童 生徒数	415	教職員数	25

学校の教育目標

夢をもち、心豊かにたくましく生きる清水っ子の育成

校訓

にこにこ
と仲良くする子

いきいき
と学習する子

はつらつ
と生活する子

- ◎多様性を尊重する道徳教育、人権・同和教育、特別支援教育の推進
- ◎いじめ防止、デジタル・シチズンシップ教育、不登校対策の推進
- 学級・学年活動、異年齢集団活動の充実
- 他校等との交流
- ◎「いきがい交流センターしみず」等、地域との交流

- 基本的学習習慣の確立
- ◎資質・能力を育てる「主体的・対話的で深い学び」の実現（「松山の授業モデル」とICT活用）
- ◎「ふるさと清水」への愛着と誇りを育てる教育の推進
- 心をゆさぶる体験活動の充実
- 学校図書館の活用と読書活動の推進

- 基本的生活習慣の確立（心と体の健康、食育の推進）
- ◎命を守る安全教育、防災教育の推進
- ◎自己肯定感や夢を育むキャリア教育の推進
- ◎主体性、社会性や奉仕の心を育てる愛校活動（清掃・挨拶・飼育）の推進
- SDGsへの取組

清水のよさ(宝)を生かした学校づくり

「個が活躍できる場、共に学び合う場、安全・安心な場、秩序ある場」としての学校
「温かく人間性豊かな教師、学び続ける専門性のある教師、共働・協働する同僚性のある教師」と「献身的な専門スタッフ」による高い学校組織力

学校を支える力強いPTA

協力的な教育会

学校に近い公民館

豊富な地域学習材・地域人材

多彩な文化施設等

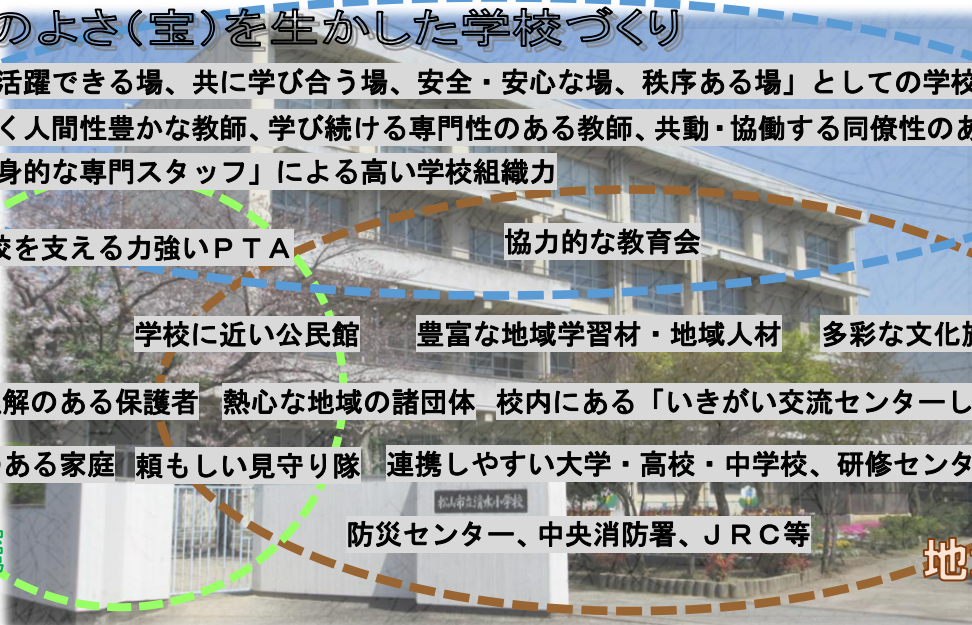
教育に理解のある保護者 熱心な地域の諸団体 校内にある「いきがい交流センターしみず」等

温もりのある家庭 頼もしい見守り隊 連携しやすい大学・高校・中学校、研修センター等

家庭

防災センター、中央消防署、JRC等

地域



<p style="text-align: center;">重 点 目 標</p>	<p>1 にこにこ仲良くする子の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 多様性を尊重する道徳教育、人権・同和教育、特別支援教育の推進 ◎ いじめ防止、デジタル・シチズンシップ教育、不登校対策の推進 ○ 学級・学年活動、異年齢集団活動の充実 ○ 他校等との交流 ◎ 「いきがい交流センターしみず」等、地域との交流 <p>2 いきいきと学習する子の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的学習習慣の確立 ◎ 資質・能力を育てる「主体的・対話的で深い学び」の実現（「松山の授業モデル」とICTの活用） ※ 松山市教育研究大会図画工作科会場校 ◎ 「ふるさと清水」への愛着と誇りを育てる教育の推進 ○ 心をゆさぶる体験活動の充実 ○ 学校図書館の活用と読書活動の推進 <p>3 はつらつと生活する子の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的生活習慣の確立（心と体の健康、食育の推進） ◎ 命を守る安全教育、防災教育の推進 ◎ 自己肯定感や夢を育むキャリア教育の推進 ◎ 主体性、社会性や奉仕の心を育てる愛校活動（清掃・挨拶・飼育）の推進 ○ SDGs への取組 <p style="text-align: right;">（◎令和5年度に特に注力する事項）</p>
<p style="text-align: center;">管 理 運 営</p>	<p>1 人的管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 温もりと相互信頼を基盤とした風通しのよい働きやすい職場づくり ○ 心身の健康管理と服務規律の厳正化、報告・連絡・相談・協働・確認の徹底 ○ 一人一人の意識改革と業務改善、地域連携等による働き方改革の推進 ○ 目標チャレンジ制度・新しい研修制度等を生かした人材育成 <p>2 物的管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心で潤いのある充実した教育環境の整備 ○ 日常的な安全点検による潜在危険箇所の早期発見・早期対応 ○ 施設・設備・備品等の適正な管理と有効活用 <p>3 事務管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務内容の明確化と事務処理の適正化・効率化 ○ 決裁等の改善による文書事務の整理と個人情報等の適切な管理 ○ 校務分掌の適正化と協力体制による正確な処理と相互確認の徹底
<p style="text-align: center;">本 校 教 育 の 特 色</p>	<p>本校が位置する城北「清水の里」は、縄文時代からの古い歴史をもち、豊かな生活文化や教育的伝統を有する地域である。今年度は、本校が現在の地に創設されてから95年目（明治5年、鉄砲町に清水学校ができてからは150年目）を迎える。平成14年度に四国で初めて小学校と施設を共用する「いきがい交流センターしみず」が創設されてから21年間続けている福祉と教育が連携した活動は、本校教育の大きな特色である。また、近隣にある大学や高校、中学校、各種施設、教育熱心で協力的なPTAや地域諸団体と進めてきた連携は、「ふるさと清水」を誇りに思う児童の育成に寄与している。こうした伝統的な清水教育を基盤に、現在、厳しさと温かみのある教職員と専門スタッフが社会の変化を前向きに受け止め、更に発展させながら、「チーム清水」として、21世紀を生き抜く児童の育成に努めている。</p>

